

電子教科書の販売について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2019年5月24日）

昨今、教育機関で iPad などの電子端末を利用した学習が展開されていること、ならびに Kindle などによる電子書籍の普及が進んでいることはご存知かと思えます。また、BYOD の推進により学生のほとんどが個人用コンピュータを所持しています。

ところで、京都大学では教科書を紙でしか販売していませんか？

吉田ショップで指定の教科書を買う際の異常な混雑や分かりにくさは常軌を逸しており、教授の中にはシラバスに指定していないにもかかわらず初回授業で教科書の持参を要求してくることもありました。

さて、なぜ教科書を紙媒体でしか販売しないのでしょうか？

京都大学で指定されている教科書のいくつかは、京都大学発行です。仮に出版社が違うのであれば電子化されていないのは企業の都合なので仕方のないことです。しかし、京都大学発行であれば少なくとも電子化の手続きは企業発行の書籍を電子化する手続きより簡単ではありませんか？

教科書を電子化することで、売り場の教科書が占有するスペースを減らせます。これにより混雑はいくらか解消されるでしょう。また教科書購入時の煩雑さも減ります。ブラウザ上で選んで購入するだけで済みます。支払いもネット決済にすれば面倒でないでしょう。持ち運びも楽になるでしょう。いっそ 2in1PC の購入を指定すればさらなる合理化が図れることでしょう。

京都大学は変人や自由な学風やらを謳っていますが、たまにこうした時勢の流れに反した前時代的手続きを要求してくることがあり、不合理に感じています。

教科書の電子化をよろしく願います。

【回答】（回答日：2019年6月12日）

（教育推進・学生支援部教務企画課）

ご意見ありがとうございます。教科書の電子書籍化について、貴重なご意見として参考にさせていただきます。

なお、京都大学生協の書籍担当へ確認したところ、教科書指定されているものでも、電子書籍化されているものであれば、生協の電子書籍の Web ページより購入可能とのことです。ただし、紙媒体の教科書購入時には、組合員証の提示で 10%OFF となりますが、電子書籍の購入の場合はその割引が適用されないとのことです。ご注意ください。